

令和4年12月栃木市教育委員会定例会会議録

令和4年12月栃木市教育委員会定例会を、令和4年12月26日栃木市役所に招集した。

- 1 本委員会の出席者は、次のとおり
青木 千津子教育長 後藤 正人職務代理 福島 鉄典委員 西脇 はるみ委員
大橋 孝子委員 館野 知美委員
- 2 本委員会の欠席委員は、次のとおり
林 慶仁委員
- 3 本委員会に出席を求められた職員は、次のとおり
教 育 次 長 名 淵 正 己
参事兼教育総務課長 金 井 武 彦
参事兼学校教育課長 金 井 睦
- 4 本委員会の署名委員は、次のとおり
西脇 はるみ委員
- 5 本委員会の書記は、次のとおり
教育総務課 主任 飯田 愛理
- 6 本委員会の会議案件は、下記のとおり

日程第 1 会議録の承認

日程第 2 教育長報告

日程第 3 議事

議案第 50 号 栃木市不登校児童生徒適応指導教室設置要綱の一部を改正する要綱の制定について

日程第 4 その他

《会 議》

教 育 長 一 午前9時30分定例会の開会を宣し、出席委員、出席を求められた職員、署名委員、書記及び会議案件を報告する。 一

教 育 長 日程第1 会議録の承認について、でございます。11月定例教育委員会の会議録につきましては、あらかじめ委員の皆様へ配付したとおりでございます。ご質問ご意見等がございますでしょうか。

福 島 委 員 会議録について意見があるわけではないのですが、前回の会議で運動部活動の地域移行検討会議に関しての話がありまして、大橋委員からメンバーに女性が1人しか入っていないというお話がありました。そのときの回答ではPTAの代表が男性2人ということになっていますが、お母様だけではなくお父様もそういった部活動の支援などを一生懸命各家庭でやってらっしゃると思いますという回答がありました。大橋委員の意見もごもっともで、部活動に関してはお母さん方がご苦労されていることが多いと思うので、PTAの代表が会議に出る前に、ある程度お母さん方の意見も拾い集めてこられるような形でやってもらえればありがたいです。

教育総務課長 ごもっともだと思います。先日第1回の会議を行いまして、PTAの方々にはPTAのお立場で積極的にご意見をいただきました。今後モデル事業を導入していく過程で、お母様方を含めた保護者の意見を賜る機会を設けていければと考えております。

教 育 長 他に会議録についてのご質問等ございますか。

一 なしの声 一

教 育 長 それでは、会議録への署名をお願いいたします。

教 育 長 次に、日程第2 教育長報告でございます。

一 12月栃木市定例校長会の資料に基づき説明 一

1 今秋の収穫から

(1)「共同訪問」を通して学んだこと

10月4日に寺尾小、10月27日に大宮南小を訪問したときの特徴的なものを紹介させていただきます。まず、働き方改革に資する取組ということで、寺尾小の例ですが、各教科、それから放課後子ども教室、様々な行事に地域人材を積極的に活用しているという報告がありました。寺尾地区は地域の方々がかねてから、学校に足繁く通っていろいろな支援をしてくれています。とちぎ未来アシストネットがスタートする前からそういう土壌がある学校だったと思います。地域人材の活用の中で特徴的だったのが、PTA役員のOBの方が学校から頼まれたとかではなくて、自主的にアクティブフューチャー寺尾という組織を立ち上げて10年近く経つようですが、若いPTAの方に声をかけて、どんどんその組織が大きくなって、いろいろな学校のイベント等々に自主的に出向いて支援をしてくれているという本当に頼りになる学校の応援団があります。あまりこういったケースが多くないようなので、特徴的な取組として紹介させていただきました。それから、表現力、コミュニケーション力の育成に向けた取組ということで、これは大宮南小の例です。市教育委員会でもグローバルデーという、ALTが大勢で学校を訪問して、丸々1日英語漬けにするというような取組をやっていますが、その校内版ということで、毎週水曜日をグローバルデーと位置づけて英語に親し

む日を設定しているということでした。挨拶も英語でし合うとか、お昼の放送で子どもたちが英語を使いながらクイズを出したりとか、そのような取組をしているようです。学力向上に向けた取組の例では、本市では小中一貫教育を導入して今年で6年目になりますが、中学校ブロックで行っている小中一貫教育の推進組織の中にGIGAスクール推進部というのを新設したということです。東陽中ブロックである大宮南小に訪問したときにこの話が出まして、中学校ブロック内にGIGAスクール推進部を設置したとともに、ブロック内で情報教育年間計画を策定してそれをもとに学校で自校化を図っているということでした。情報教育推進計画がどういうものかといいますと、各学年におけるタブレット活用の内容、学年毎にこんなことができるというCaNDoリストを作っているそうです。それから、情報モラル年間指導計画も同時に策定しているということで、とてもいいものだなと思って校長会で紹介させていただきました。

(2)「新規採用職員正式訪問」を終えて

今年も39名の初任者が配置された学校に正式訪問をしてきました。総じて学校全体で初任者を温かく育てるという機運がとても盛り上がっていて、初任者の頑張っている姿を見ることができました。校長先生に感謝の気持ちを込めてメッセージを伝えたいなと思って書かせてもらいました。それから、心に残った初任者の言葉も紹介させてもらいました。小学校に配置された男性の先生です。「自分が子どもの頃受けた授業っていうのは、先生の一方向的説明を聞いて、教わったことを覚えるという授業が多かったけれど、自分は子どもたちが自分たちで疑問を持って、自分たちで考えたり、友達と学び合ったり、議論し合ったり、そういう授業をしたいと思っているんです」っていうことで、大抵の初任者はやりやすいのか算数の授業が多いんですが、この先生はあえて社会科を選んで、子どもたちが話し合う、学び合うっていう授業に挑戦していました。時間切れで指導案通りにいかなかった部分もありましたが、この心意気といいますか気骨がすごいなと思ひまして、校長先生もこの初任者に対して良いところを伸ばしてあげたいと思っているんですと言ってきて、すごく心に残る初任者でした。たまたまこの時期の教育新聞の「管理職の独り言」っていうコラムにも、学校ボランティアとしてコロナの時期に消毒作業を行ったり先生の印刷物を手伝ったりしたときに、その学校の様子を見て、自分はやはり教職を目指したいと決意した学生の記事がありまして、この学生さんが言っていた言葉が今紹介した初任者と同じようなことを言っていたのでとても心に残りました。なかなかこのようにいかない状況も見受けられますけれども、常に子どもが主体、子どもが自ら疑問を持ち、自ら学ぶ、そういう授業を展開するために私達は日々努力していかなければならないなと思ひまして、校長先生方へ資料としてつけさせていただきました。

2 コロナ禍が続く中まとめの時期に差しかかる今、お願いしたいこと

(1) 次年度の学校経営計画、教育計画等策定への準備を着実に

特に、校長会でいつも気持ちを込めてお話するのは、本校ならではの教育についてであります。奇をてらって他と違うものをやるぞということではなくて、学習指導要領の趣旨やねらい、あるいは学校教育目標、そういうものに照らして、自校の課題の解決に繋がるものこそが本校ならではの教育ではないかというふう

に思っております、ということを書かせていただきました。また、様々な研究校の発表等々が今年はありましたので、そういった中から学べるものは自校に取り入れてもらいたいということも書いております。

(2)「備えあれば憂いなし」を旨に、感染拡大を想定した備えを

第8波到来の時期でありましたので、とにかく学びを止めないために、1人1台のタブレットが配置されているので、その活用について全職員で研修をして共通理解を図っていただきたい。学級間、学年間、学校間での格差が生まれないように学びを止めないという観点からしっかりとタブレットの活用を図っていただきたいということで、これについては担当の方から詳しい説明がありました。前段としてここで校長先生にお願いをした次第です。

— 「とちぎの近代美術」について —

令和5年の1月15日日曜日に、とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）にて栃木の近代美術ということで市立美術館の館長であります杉村先生が講話を行ってくださいます。これはとちぎ文化講座の特別講座として行われるものですが、杉村先生はとってもお話が上手でわかりやすく楽しく私のような美術に素人のような者にもわかりやすく説明をしてくださる先生でして、とてもいい講演会になろうかと思っておりますので、もしお時間がありましたら、ぜひともご参加いただければありがたいなと思って紹介させていただきます。

— 不登校を一緒に考える保護者の集いについて —

12月14日に教育委員会主催で不登校を一緒に考える保護者の集いを実施しました。昨年度、いわゆるフリースクールと言われるような民間団体の代表の方々と市教育委員会で懇談をしましたが、今年はその第2弾ということで、学校を通して全保護者にご案内をさせていただきました。申込は80何名あったようですが急遽来れなくなってしまった方もいて、約70名の保護者の方がお集まりくださいました。人数が予想より多かったので、第一部と第二部に分けることにしました。保護者の方をグループに分けて、そこにコーディネーターとして民間団体の方に入っていて話し合いをしました。これは多分、県内でも初めての試みだと思います。学校教育課長からより詳しくお話いただけますか。

学校教育課長

今年の1月に8団体のフリースクールの関連団体にお越しいただきまして、情報交換会を行いました。そして今回、70名の保護者と20名の民間団体の方にお越しいただきまして話し合いをさせていただきました。市内には5つの適応指導教室がありますが、そこに通級することが難しい子どもたちもたくさんいます。保護者の悩みや思いを共有し、フリースクールの方々と情報共有して、教育施策に生かせればということではじめたものです。当初は2時間半ぐらいの話し合いを計画していましたが、コロナ禍であり、また、非常に多くの保護者からの申し込みがありましたので、2部制にしました。保護者の当日の意見、また、アンケートの中でいただいた意見の中に大きくは3つの意見がありました。「様々な方に気持ち聞いてもらえて心が軽くなった」「フリースクールの情報が得られてよかった」「こういう場を続けてほしい」という意見がありました。ご意見を踏まえて次に施策に生かしていきたいと考えております。民間団体の力強さを感じ、多くの子どもたち、保護者にとって別の選択肢になると思いました。学校もやりたいと

思ってもなかなか手が回らないところがありますが、同志を得たような思いがしました。

教 育 長

教育長になって今年で5年目になりますが、1年目からこの会がやりたくて、悲願でした。というのは、校長時代に不登校の多い学校の校長を経験いたしまして、どうにか不登校という問題に対して何かできることがないだろうかと模索した校長時代でした。校内版適応指導教室を作ったり、柔軟に不登校の子どもに対応できるように、学校の別室に行っても疲れてしまったらあじさい教室に行ってもいいし、あじさい教室に行っている子がちょっと学校に行ってみようかなってそこから来てもいいし、とにかくこうあるべきとか、一定の線を引くのではなくて柔軟に子どもを真ん中に置いてその子どもが自分で判断して、自分の心の状態を自覚してというか、やはり選べる選択肢をたくさん作ってあげることが大切なんじゃないのかなと実感したものですから。このような会を今年開催することができてとてもよかったなというふうに思っています。自分が教員だったとき、フリースクール等の民間団体と学校っていうのは相対するもののような、そういう気持ちをお互いに抱いてしまっていたのかもしれませんが、そうではなくて子どもが救われるってことが第一ですので、フリースクールだろうが学校だろうが適応指導教室だろうが、子どもが足を向けられて、そこで何か心が開かれるようなそういう場所を提供できたらいいなって思っているのと、やはり保護者の方が1人で悩んで孤立しないことが大切かなと思いました。参加して下さった委員もいらっしやったようですので、もしご意見等ありましたらよろしくお願いします。

大 橋 委 員

今の不登校の集いなんですけれども、保護者側として出席しました。私の子どもが不登校になっていた時期がありましたので、その時にこういう会があったらよかったなって本当に思います。これは画期的なことだと思うのでこれを機に加速度的にどんどんこういう機会を増やして行ってほしいと思います。なぜなら、子どもにとっての1年は一生に一度の1年で、その1年をただ家でもんもんと過ごすのではなく少しでも光が当たるような形で親子ともに暮らしていけたらいいと思うからです。だから、年に1回ペースとかじゃなくて、もっと小まめに、あるいは気楽にそういった悩みを抱える親御さんたちが集まれるような場所を、民間もいいんですけど、民間はお金がかかったりとか、それからやっぱりSNSとかで調べるしかないんですよ。そうすると情報もあるようでよくわからないってということもあって、やはり市が中心になって、そういった動きをしてもらおうと保護者としてはとりかかりやすいと思います。あとやっぱり時間が足りなかったですね。皆さん本当に思いがいろいろあって、もっと言いたい、もっと聞きたいってことがたくさんあったと思いますので、ぜひ何度もお願いしたいと思います。

館 野 委 員

私は関係団体の職員として参加しました。保護者の中には涙を流しながら実情を訴える方もいらっしやって、話し始める前は自分の家の事情をここで話していいのかすごく迷いながら参加されている方が多くて、誰も最初口火を切りませんでした。一度話し始めると、とめどなく溢れてきて、本当に時間が足りないっていう意見と、こういう情報を私達はどこから仕入れたらいいんですかっていう意見が多かった。民間ではこういう話し合いは定期的に行われているとは思いますが、行政が主体になってやっていることで、歩み寄られている、寄り添われ

ている感じ、こういう悩みを抱えている人たちが聞いてもらえるんだっていう場所になっているなというのはすごく感じたので、教育委員会主催っていうのがとても大きな意味があると思いました。継続的に開催してもらいたいです。それから、市内には常設されているフリースクールがないんですよね。フリースクールだろうっていう団体はあっても、そこがフリースクールって明示してなかったりするんで、フリースクールとはとか、常設されたフリースクールを民間で作った方がいいのかとか、どうしたらいいのかなって感じました。常設されたフリースクールがあった方がいいのか、団体が不定期でやっていることの方がハードルが低いのか、ニーズが多種多様なのでどういう形がいいのか分かりませんが、栃木市でフリースクールっていう肩書で動いているところがないっていうことは分かりました。

学校教育課長

自分たちも今回のことがきっかけで理解を深めている最中でして、それぞれの団体は方向性が違うところがあります。学校とのやりとりの中でフリースクールの団体とお話しをさせていただきながら、どういう形がいいのか答えを持っているわけではありませんが、国もフリースクール等民間団体との協働については緒に就いたばかりですので、研究をしていきたいと考えております。

教 育 長

これから探っていきたいというところです。国のフリースクールの条件があるんですよ。建物があるとか、人材とか、ある一定の条件を満たすところをフリースクールと呼ぶという決まりがあったかと思います。そういう要件に照らすと、栃木市にはフリースクールと呼べるものはないということですね。

福 島 委 員

初任者の先生の話ですが、車の販売会社の私の担当者がこの間電話してきて、会社をやめて先生になるために、もう1回学校に入り直すんだと言ってました。今の会社の給料に比べるとだいぶ減るよと言ったんですが、お金じゃないんだ、やりたいからもう1回、一から勉強し直したいって話があったので、やっぱり心意気のある若い子がいますし、そういった子たちが先生になったときに幻滅しないように若手を大切にすると雰囲気も大切にしていってほしいと思いました。先日小太刀議員とお話しする機会がありまして、産業教育常任委員会で小学校の英語の授業を見て感銘を受けたという話をしていました。タブレットを使いこなしていたと。やはり議員は予算を決めたりいろいろな力を持っているので、彼らをもっと教育の現場に連れ出して、現状を知ってもらって、やっぱり予算が足りない部分があるので、そういったときに少しでも意見してもらえるようにしていくべきだと思いました。一人一人が現状を知らないからできないということもあるかと思えます。

教 育 長

次に、日程第3 議事に入らせていただきます。議案第50号 栃木市不登校児童生徒適応指導教室設置要綱の一部を改正する要綱の制定について、を議題といたします。学校教育課長より説明をお願いします。

学校教育課長

〔説明要旨〕

栃木市不登校児童生徒適応指導教室を栃木市教育支援センターに改編するに当たり、所要の改正を行う必要が生じたため、栃木市不登校児童生徒適応指導教室設置要綱の一部を改正する要綱を定めることについて、議決を求める旨説明。

教 育 長

議案第50号について、何かご意見等ございましたらお願いいたします。

— 質問なし —

教 育 長 それでは議案第50号について、原案のとおり決定することとしてよろしいでしょうか。

— 異議なしの声 —

教 育 長 異議なきものと認め、議案第50号について、可決いたします。

教 育 長 次に、日程第4 その他に入ります。教育委員による学校訪問について、藤岡中学校につきましては西脇委員、大平南小学校については福島委員、千塚小学校については大橋委員、静和小学校については後藤委員からそれぞれご報告をお願いします。

西 脇 委 員 — 教育委員学校訪問報告書に基づき報告 —

教 育 長 ありがとうございます。ご一緒に行かれた委員からご意見はありますか。
館 野 委 員 生徒たちの挨拶がとても素晴らしかったことはお伝えしておきたいと思いました。あと、校長先生のお話しの中で、地域の伝統的な太鼓があつて、それをどうやって継承していこうか悩まれているということだったので、地域の伝統が受け継がれていくといいなと思いました。

福 島 委 員 — 教育委員学校訪問報告書に基づき報告 —

教 育 長 ありがとうございます。ご質問等がありますか。

— 質問なし —

大 橋 委 員 — 教育委員学校訪問報告書に基づき報告 —

教 育 長 ありがとうございます。ご質問等がありますか。

西 脇 委 員 教頭先生が説明してくださったんですが、PTAの組織から余分なものを省いて内容を濃くする努力をされているようなので、広げていってほしいと伝えました。

後 藤 委 員 — 教育委員学校訪問報告書に基づき報告 —

教 育 長 ありがとうございます。ご質問等がありますか。

— 質問なし —

教 育 長 ありがとうございます。次に、令和4年12月議会における教育委員会に関する一般質問の答弁概要について、教育次長より説明をお願いします。

教 育 次 長 〔説明要旨〕

8人の議員から39問の質問があり、主な概要について説明。

教 育 長 以上で、本日の案件はすべて終了いたしました。委員の皆様から何かございますか。

— なし —

教 育 長 ありがとうございます。それでは、これもちまして本日の定例教育委員会を閉会といたします。

—— 午前10時45分委員会の閉会を宣した。 ——

令和4年12月26日

教育長

署名委員